

1 「話すこと〔発表〕」における第1学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

関心のある事柄について、教師のサポートがあれば、簡単な語句や文を用いて、キーワードやメモを頼りにしながら、即興で話すことができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて発表しようとしている。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

友だちと情報のやり取りを行うために、日常的な話題(先週末の出来事など)について友達とやり取りして得た情報を、簡単な語句や文を用いて、キーワードやメモを頼りにしながら、即興で伝えることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 動詞の過去形を用いた文法事項を理解している。 [技能] 友だちの過去の出来事について、動詞の過去形の簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	友だちと先週末の出来事について情報のやり取りを行うために、過去の出来事について友だちと会話して得た情報を伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを、動詞の過去形の簡単な語句や文を用いて、話している。	友だちと先週末の出来事について情報のやり取りを行うために、過去の出来事について友だちと会話して得た情報を伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを、動詞の過去形の簡単な語句や文を用いて、発表しようとしている。

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>■不規則変化動詞の過去形を含む簡単な語句や文を理解し、それらを用いて過去の出来事について説明することができる。</p> <p>○チャットで、既習事項を用いてペアでやり取りをする。</p> <p>○不規則変化動詞の過去形やその文を理解し、練習する。</p> <p>○ピクチャーカードを使い、過去の出来事について説明する。</p>			
2	<p>■自分の過去の出来事を、動詞の過去形の簡単な語句や文を用いて表現することができる。</p> <p>○チャット機能を活用し、既習事項を用いてペアでやり取りをする。</p> <p>○不規則変化動詞の過去形やその文を練習する。(第1時の復習)</p> <p>○イラストを使い、自分の過去の出来事について表現する。</p>			
3	<p>■教科書本文を読み、引用するなどしながら、動詞の過去形の簡単な語句や文を用いて内容について表現したり、自分の考え、気持ちなどを伝え合ったりすることができる。</p> <p>○チャット機能を活用し、昨日の出来事についてペアでやり取りをする。</p> <p>○教科書本文の内容を読み、ピクチャーカードを使って、その過去の出来事について引用しながらリテリングしたり、自分の考え、気持ちなどを伝え合ったりする。</p> <p>○伝え合った内容を踏まえ、教科書本文の内容について書いてまとめる。</p>			
4	<p>■教科書本文を読み、引用するなどしながら、動詞の過去形の簡単な語句やその文を用いて内容について表現したり、自分の考え、気持ちなどを伝え合ったりすることができる。</p> <p>○チャット機能を活用し、昨日の出来事についてペアでやり取りをする。</p> <p>○教科書本文の内容を読み、ピクチャーカードを使って、その過去の出来事について引用しながらリテリングしたり、自分の考え、気持ちなどを伝え合ったりする。</p> <p>○伝え合った内容を踏まえ、教科書本文の内容について書く。</p>	○		
5	<p>■過去の出来事について友達とやり取りして得た情報を、動詞の過去形の簡単な語句や文を用いて、メモやキーワードを頼りにしながら、即興で他の友達に伝えることができる。</p> <p>○チャットで、昨日の出来事についてペアでやり取りをする。</p> <p>○やり取りを整理し、必要に応じてメモを作り、それを使いながら他の友達にやり取りの内容を伝える。</p> <p>○ペアや話題(先週末の出来事)を変えて練習をする。</p> <p>○自分が伝えた内容を書く。</p> <p>※本時の評価に加え、後日パフォーマンステストを実施する。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

先週末の出来事について、友だちとやり取りして得た情報を、簡単な語句や文を使って、即興で伝える活動

(2) 準備する課題

友だちの先週末の出来事についてその場で聞き、外国人の友だちに教えることになりました。そこで、友だちから先週末の出来事について、1分半で聞き取り、得た情報を必要に応じてメモを取って整理し、5文以上の英文を使って発表してください。

「発表」(例)

Yuki visited Tomakomai last Sunday.

She went to IEON and did some shopping.

She got a new bag.

You can see it here.

It's a beautiful green color.

She enjoyed her weekend.

(3) 採点の基準 (ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	「b」に加えて、ジェスチャーを用いたり、簡単な言葉で言い換えたりして話している。	「b」に加えて、ジェスチャーを用いたり、簡単な言葉で言い換えたりして発表しようとしている。
b	誤りは一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	友達とやり取りして、友達が話した語句や英文を引用するなどしながら、簡単な文を使って、得た情報を発表している。	友達とやり取りして、友達が話した語句や英文を引用するなどしながら、簡単な文を使って、得た情報を発表しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

1 「話すこと〔発表〕」における第2学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

「将来の夢」について、自分の考えや気持ち、理由などを、簡単な語句や文を用いて、まとまりのあるスピーチをすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて発表しようとしている。

※実際の指導と評価に当たっては、「話すこと〔やり取り〕」や「書くこと」などの評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

聞き手に伝わるように、日常的な話題(将来の夢など)について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] to不定詞やhave toを用いた文の構造を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、自分が将来就きたい職業や夢について、自分の考えや気持ちなどを、to不定詞やhave toなどの簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	聞き手に伝わるように、自分が将来就きたい職業や夢について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	聞き手に伝わるように、自分が将来就きたい職業や夢について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、発表しようとしている。

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1 ・ 2	<p>■単元の目標について理解することができる。</p> <p>■不定詞の名詞用法について理解し、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、ハロウィーンパーティーでの仮装について、自分が考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている不定詞の名詞用法の構造と意味を理解する。</p> <p>○不定詞の名詞用法を用い、自分がしたいことやなりたいものについて、ペアやグループで伝え合う。</p>			
3 ・ 4	<p>■不定詞の副詞用法について理解し、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、ボブの家のジャック・オ・ランタンについて、自分が考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている不定詞の副詞用法の構造と意味を理解する。</p> <p>○不定詞の副詞用法を用い、理由や目的について、ペアやグループで伝え合う。</p>			
5 ・ 6	<p>■前置詞語句による名詞の後置修飾について理解し、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、ボブが5歳の頃のビデオを観て、自分が考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている前置詞語句による名詞の後置修飾の構造と意味を理解する。</p> <p>○前置詞語句による名詞の後置修飾を用い、人やものについての情報を加えて、ペアやグループで伝え合う。</p>			
7 ・ 8	<p>■不定詞の形容詞用法について理解し、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、アップルボビングについての説明やケンタの挑戦について、自分が考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている不定詞の形容詞用法の構造と意味を理解する。</p> <p>○不定詞の形容詞用法を用い、時間や機会についての情報を加えて、ペアやグループで伝え合う。</p>			
9 ・ 10	<p>■have to, don't have to について理解し、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、動物園での職業体験について、自分が考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている have to, don't have to の構造と意味を理解する。</p> <p>○have to, don't have to を用い、しなければならないこと、する必要がないことについて、ペアやグループで伝え合う。</p>			

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
11 ・ 12	<p>■助動詞 should について理解し、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、アヤが将来就きたい職業について、自分が考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている助動詞「should」の構造と意味を理解する。</p> <p>○助動詞 should を用い、相手がすべきことについて、ペアやグループで伝え合う。</p>	○		
13 ・ 14	<p>■依頼 Will(Can) you ～?と、その応答の仕方について理解し、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、メイが将来就きたい職業について、自分が考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている Will(Can) you ～?と、その応答の仕方について、構造と意味を理解する。</p> <p>○Will(Can) you ～?を用い、自分が依頼したいことについて、ペアやグループで伝え合う。</p>			
15 ・ 16	<p>■許可 May I ～?とその応答について理解し、伝え合うことができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、アヤが好きな写真家について、自分が考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p> <p>○対話文で使われている May I ～?と、その応答の仕方について、構造と意味を理解する。</p> <p>○May I ～?を用い、相手に許可を求めることについて、ペアやグループで伝え合う。</p>			
17 ・ 18	<p>■「将来の夢」について、自分の考えや気持ち、理由などを、簡単な語句や文を用いて、まとまりのあるスピーチをすることができる。</p> <p>○これまでに学習した不定詞や助動詞などの文法事項や簡単な文を用い、自分が将来就きたい職業や夢に関わる自分の考えや気持ちなどについて、ペアやグループで伝え合う。</p> <p>○自分が将来就きたい職業や夢についてのスピーチ原稿を作成し、全体の場で発表する。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

自分の将来の夢について、自分の考えや気持ち、理由などを簡単な語句や文を用いて、スピーチをする活動

(2) 準備する課題

<u>Speech about My Future Dream</u>	
Hello. I am Tomoyo. I am going to talk about my dream.	
I want to be a teacher. I'll tell you why.	
First, I like English very much. I want to teach English.	
So, I have to study it hard.	
Second, I like children. They are very cute. I want to play with them.	
I think that becoming a teacher is difficult, but I will do my best.	
Thank you for listening.	

(3) 採点の基準（ルーブリック）

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	「b」に加えて、自分の考えの詳細を話したり、話題を広げたり、深めたりしている。	「b」に加えて、自分の考えの詳細を話したり、話題を広げたり、深めようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	準備した原稿等を基に、学んだ表現や簡単な語句や文を用いて、将来の夢に関わり、考えたことや感じたこと、その理由などについて、短いスピーチをしている。	準備した原稿等を基に、学んだ表現や簡単な語句や文を用いて、将来の夢に関わり、考えたことや感じたこと、その理由などについて、短いスピーチをしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

1 「話すこと〔発表〕」における第2学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DOリスト)

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、1分間のプレゼンテーションができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて発表しようとしている。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

外国の人に分かりやすく伝わるように、日常的な話題(落語など)について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] There is/areや動名詞を用いた文の構造を理解している。 [技能] 落語について事実や自分の考え、気持ちなどを、There is/areや動名詞などの文法事項、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	外国の人に分かりやすく伝わるように、落語の魅力などについて事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、話している。	外国の人に分かりやすく伝わるように、落語の魅力などについて事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、発表している。

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>■There is/areの肯定文の形・意味・用法を理解し、表現することができる。</p> <p>○自分の家には何があるかを書く。</p>			
2	<p>■There is/areの疑問文と答え方の形・意味・用法を理解し、表現することができる。</p> <p>○相手の家にあるものについて質問したり、回答したりする。</p>			
3	<p>■There is/areの否定文と答え方の形・意味・用法を理解し、表現することができる。</p> <p>○自分が理想とする町を想像し、町にあるものやないものを書く。</p>			
4	<p>■動名詞の文の形・意味・用法を理解し、表現することができる。</p> <p>○自分が好きなことや嫌いなことを書く。</p>			
5	<p>■教科書の表現を活用して簡単な告知することができる。</p> <p>○教科書のポスターを活用し20秒のプレゼンテーションをする。</p>			
6	<p>■教科書の表現を活用して落語を説明することができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み取り、教科書の表現を活用しながら30秒のプレゼンテーションをする。</p>			
7	<p>■Retellingに取り組むことができる。</p> <p>○教科書の本文を読み取り、読み取った内容をペアで伝え合う。</p>			
8	<p>■落語の演じ方を理解することができる。</p> <p>○教科書の落語の台本を読み取ったり、落語を動画で視聴したりしながら、演じ方を理解した後、ペアで教科書を音読する。</p>			
9	<p>■自分の意見を加えたRetellingに取り組むことができる。</p> <p>○教科書の本文から読み取った内容について自分の考えや感じたことをペアで伝え合う。</p>			
10	<p>■効果的なプレゼンテーションを考えることができる。</p> <p>○効果的に伝えるための工夫を考えたり、絵や写真を準備し、プレゼンテーションの練習をしたりする。</p>			
11	<p>■落語について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、1分間のプレゼンテーションができる。</p> <p>○グループで1分間のプレゼンテーションの発表をする。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

落語がどんなものかを紹介したり、落語の現状や魅力を伝えたりするなど、自分の考えを交えながら、1分間のプレゼンテーションをする活動

(2) 準備する課題

①場面設定

町で外国人に向けた落語会を開催することとなり、落語会のPRビデオで落語についてのプレゼンテーションを依頼された場面

②プレゼンテーション(例)

「4人グループでプレゼンテーションを発表し合います。4人をそれぞれ、カメラマン、タイマー、ワードカウンター、発表者に分かれて発表し合います。カメラマンはタブレットを使って録画します。各自3回録画できます。一番いいものを保存して残してください。」

[生徒発表例]

What is rakugo like?

Rakugo is Japanese comic story telling. Its stage set is very simple. There is only a cushion. And there are two props. A fan and a hand towel.

The performer uses them in different ways. There is one more point in rakugo.

One performer plays several different characters.

I think rakugo is so fun because the performer has a lot of expressions, happy, angry and sad. Some doctors think that laughter is also good for our health.

Now please enjoy listening to some classic rakugo stories in English. (91Words)

(3) 採点の基準 (ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話している。	「b」に加えて、自分の考えなどの詳細を話したり、聞き手にとって分かりやすい発表をしたりしている。	「b」に加えて、自分の考えなどの詳細を話したり、聞き手にとって分かりやすい発表をしたりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	①十分な量で(60語以上)、②アイコンタクト、ジェスチャー、絵や写真、問いかけ等を効果的に使用しながら、③教科書の表現や自分の考え、意見を入れて説明している。	①十分な量で(60語以上)、②アイコンタクト、ジェスチャー、絵や写真、問いかけ等を効果的に使用しながら、③教科書の表現や自分の考え、意見を入れて説明しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

1 「話すこと〔発表〕」における第2学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

自分が住んでいる町など、身近な話題について、その特徴などの説明を、4文以上かつ40語程度で話すことができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて発表しようとしている。

※実際の指導と評価に当たっては、「読むこと」や「書くこと」などの評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

日本のことや自分の住んでいる町について紹介するために、日本の伝統・文化について、書かれた英文を例に、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
[知識] There is/areを用いた文の構造や動名詞の使い方を理解している。 [技能] 自分の住んでいる町について、事実や自分の考え、気持ちなどを、There is/areや動名詞などの簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	自分が住んでいる町のよさを相手に分かってもらえるように、町や施設の魅力について自分の考えや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話している。	自分が住んでいる町のよさを相手に分かってもらえるように、町や施設の魅力について自分の考えや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて、発表しようとしている。

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を把握し、学習活動の見通しをもつことができる。</p> <p>■教科書の英文を参考に、自分たちの教室にあるものについて、どこに何がいくつあるかを説明することができる。</p> <p>○教科書の公演ポスターを読み、There is/are の構造と意味を理解する。</p>			
2	<p>■対話文を読み、市や町の施設についての質問に答えることができる。</p> <p>○対話文で使われている未知の語の意味や There is/are (疑問文・否定文) の構造と意味を理解する。</p>			
3	<p>■家の近くにあるものについて尋ねたり、説明したりすることができる。</p> <p>○前時までに学んだ There is/are の構造を確認し、考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p>			
4	<p>■教科書の英文を読み、過去の出来事を説明することができる。</p> <p>○説明文を読み取って、動名詞の使い方と意味を理解する。</p>			
5	<p>■There is/are と動名詞を用いて、自分の住んでいる町内の施設についてより詳しく説明することができる。</p> <p>○町内の施設の魅力をペアで伝え合う。</p>			
6	<p>■教科書本文を読み、登場人物の意図について自分の考えや感じたことを説明することができる。</p> <p>○動名詞を用いて、考えたことや感じたことをペアで伝え合う。</p>			
7	<p>■There is/are と動名詞を用いた英文を読み、読んだ内容について自分の考えや感じたことを説明することができる。</p> <p>○前時までに学んだ There is/are や動名詞の使い方と意味を理解する。</p>	○		
8	<p>■ピクチャー・カードを使い、There is/are を正しく用いて部屋の状況を説明することができる。</p> <p>○部屋にあるものについて説明する。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

自分が住んでいる町の魅力について、自分の意見や理由を加えながら、プレゼンテーションする活動

(2) 準備する課題

<発表例 1>

Rankoshi is famous for its Rankoshimai. There are beautiful rice fields. We have a good restaurant, "Machinochaya". If you like eating Japanese food, you should go there.

<発表例 2>

I think Rankoshi is a very good place because there are nice hot springs. There are no tall buildings in Rankoshi, but there are beautiful rivers and mountains. There are famous ski resorts around Rankoshi, so you can enjoy skiing and snowboarding in winter.

(3) 採点の基準（ルーブリック）

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英語で話すことができる。	「b」に加えて、自分の考えなどについて、詳しい内容や様々な視点から捉えたことを話している。	「b」に加えて、自分の考えなどについて、詳しい内容や様々な視点から捉えたことを話そうとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	自分が住んでいる町の魅力について、自分の考えたことや感じたこと、その理由を話している。	自分が住んでいる町の魅力について、自分の考えたことや感じたこと、その理由を話そうとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

※「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の2つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

条件1:自分の考えたこと、感じたこととその理由を述べている。

条件2:身近な話題について、その特徴などの説明を、4文以上かつ40語程度で話している。

1 「話すこと〔発表〕」における第3学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

自分の選んだ人物について、まとまった内容でスピーチをすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと」〔発表〕)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて発表しようとしている。</p>

※実際の指導と評価に当たっては、「聞くこと」や「読むこと」などの評価規準も設定することが考えられる。

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

自分の選んだ人物について興味をもってもらえるように、身近な人やものについて、詳しい情報を加えながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 接触節や関係代名詞(主格・目的格)を用いた文の構造を理解している。</p> <p>[技能] 自分の選んだ人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを、接触節や関係代名詞などの簡単な文を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分の選んだ人物について詳しく紹介し、興味をもってもらえるように、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話している。</p>	<p>自分の選んだ人物について詳しく紹介し、興味をもってもらえるように、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、発表しようとしている。</p>

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1	<p>■単元の目標を理解することができる。</p> <p>■接触節の形・意味・用法を理解する。</p> <p>○人やものについて詳しい情報を加えて説明する。</p>			
2	<p>■ノーベル平和賞受賞者紹介の内容を理解することができる。</p> <p>○教科書の文を読み、理解したことを伝え合う。</p>			
3	<p>■主格の関係代名詞whoの形・意味・用法を理解することができる。</p> <p>○人について詳しい情報を加えて説明する。</p> <p>○スピーチに向けて、自分が選んだ人物についての説明を考える。</p>			
4	<p>■アウンサン・スーチーの半生について理解することができる。</p> <p>○教科書の対話文を読み、理解したことを伝え合う。</p>			
5	<p>■主格の関係代名詞that(which)主格の形・意味・用法を理解することができる。</p> <p>○ものについて詳しい情報を加えて説明する。</p> <p>○スピーチに向けて、自分が選んだ人物についての説明を考える。</p>			
6	<p>■アウンサン・スーチーの政治的側面に関するインターネットの記事を読んで、その内容を理解することができる。</p> <p>○教科書の記事を読み、読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p>			
7	<p>■目的格の関係代名詞that(which)主格の形・意味・用法を理解することができる。</p> <p>○ものについて詳しい情報を加えて説明する。</p> <p>○スピーチに向けて、自分が選んだ人物についての説明を考える。</p>			
8	<p>■アウンサン・スーチーの政治的側面に関するインターネットの記事を読んで、その内容を理解することができる。</p> <p>○教科書の記事を読み、読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。</p>			
9	<p>■人について詳しい情報を加えて説明することができる。</p> <p>○自分が選んだ人物について、情報をつけ加えて分かりやすく説明する。</p> <p>○人についての説明を聞いて、その内容を理解する。</p>	○	○	○

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

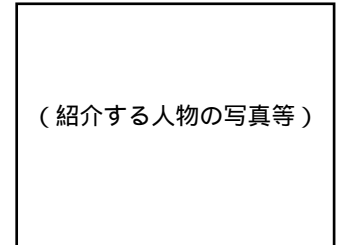
自分が選んだ人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、スピーチする活動

(2) 準備する課題

< 発表(例) > ※A:生徒、B:教員等

< 問題資料(例) >

A	<p>I'm going to tell you about John Lennon. John Lennon is a singer and a songwriter who is loved around the world. He is from England. His famous songs are <i>Imagine</i> and <i>Let It Be</i>.</p> <p>(接触節や関係代名詞等学習した言語材料を用いて自分が選んだ人物について紹介する。)</p>
B	<p>What do you think about him?</p>
A	<p>I think he is a great singer and known by many people.</p> <p>(紹介する人物について自分の考えを述べる。)</p>
B	<p>Thank you for your speech. You did a great job!</p>



(3) 採点の基準 (ルーブリック)

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	「b」に加えて、人物について様々な視点から紹介したり、自分の考えの詳細を話したりしている。	「b」に加えて、人物について様々な視点から紹介したり、自分の考えの詳細を話したりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の、聞き手に伝わる英文を用いて話すことができる。	聞き手に興味をもってもらえるように、紹介する人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えている。	聞き手に興味をもってもらえるように、紹介する人物について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

1 「話すこと〔発表〕」における第3学年の目標及び評価規準

(1) 目標 (CAN-DO リスト)

身近な話題について、事前に調べまとめた資料に基づき、聞き手に分かりやすいスピーチをすることができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて発表しようとしている。</p>

2 単元の目標と評価規準

(1) 目標

聞き手が「行ってみたい」と興味をもってもらうために、他者へ紹介したい場所とそのおすすめポイントについて、聞き手が理解しやすいように順序立て、まとまりのある内容を話すことができる。

(2) 評価規準 (「話すこと〔発表〕」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 関係代名詞を用いた文の構造を理解している。</p> <p>[技能] 選択した地域の魅力について、事実や自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話す技能を身に付けている。</p>	<p>各管内の魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を聞き手が理解しやすいように話している。</p>	<p>聞き手が「行ってみたい」と興味をもてるような各管内の魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を聞き手が理解しやすいよう、発表している。</p>

(3) 単元の指導計画

時間	ねらい (■) 言語活動等 (○)	評価 (案)		
		知	思	態
1 ・ 2	<p>■単元の目標を理解するとともに、パフォーマンステストのねらいや流れを把握することができる。</p> <p>○自分が話したい地域について、情報を収集してメモにまとめる。</p>			
3 ・ 4	<p>■まとまりのある内容を話すための文の構造(関係代名詞)を理解することができる。</p> <p>○関係代名詞の文構造を用いて、グループでまとまりのある内容を話すために、前時で作成したメモを活用して、発表の準備をする。</p> <p>○教科書を用いて、参考となる関係代名詞の文構造をもとに、まとまりのある内容を話すための概要や大筋を箇条書きにしたメモを作成して、自分の考えや気持ちを整理して話す。</p>			
5 ・ 7	<p>■概要や大筋を箇条書きにしたメモを活用して、効果的なスピーチにするための工夫をすることができる。</p> <p>○グループで発表練習を行い、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりして、効果的なスピーチにするための表現を工夫する。</p>			
8 ・ 10	<p>■複数のグループで発表内容を確認し、内容のつながりを考えて、効果的なスピーチにするための表現を考えることができる。</p> <p>○既習事項を生かし、聞き手に配慮した効果的なスピーチをするための表現を工夫する。</p>		○	○
11	<p>■中間発表で、ルーブリックの観点に従って相互評価を行い、評価に基づき、改善点について話し合うことができる。</p> <p>○クラスを2つのチームに分けて、お互いの発表について、より効果的な方法について話し合う。</p>		○	○
12	<p>■自分の考えが伝わるように発表することができる。</p> <p>○ALTに、自分の考えが伝わるよう発表を行うとともに、発表の内容についてALTとやりとりを行う。</p>	○	○	

3 パフォーマンステスト

(1) 内容

北海道の各管内のよさを伝える活動

(2) 準備する課題

あなたは北海道の _____ 管内の新人職員。ある町の ALT が実はお金持ちで 100 万ドル(1 億円)を北海道に寄付することになり、そのお金を魅力のある街に分けたいとのこと。

そこで英語が堪能なあなたに仕事が任されることになりました。あなたの初仕事は各管内の新人職員と地域ごとにタッグを組みながらも、自分の管内のよさを PR し、より多くの寄付を得ること。

ひとつひとつミッションをクリアしながら、魅力的なプレゼンテーションをしてください！

☆Your team is (Team North～道北・道東～ Team South～道南・道央～)。

☆Your block group is (道北 ・ 道東 ・ 道南 ・ 道央)。

(参考になる写真等)

Your Sub prefecture is _____.

<ALT's Favorite>

- FOOD
- Tourist attractions
- Things which can only be experienced there.
- People who do their best to own their town.

○プレゼンテーションの条件

- ①提案する場所などを2～3点挙げ、アピールポイントを提示すること。
- ②全体で 10 文以上のスピーチを考え、90 秒前後の発表とすること。

(3) 採点の基準（ルーブリック）

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文ではっきりと話すことができる。	「b」に加えて、聞き手の様子を踏まえて、既習事項を生かして、詳細な説明を加えるなどの工夫を行っている。	「b」に加えて、聞き手の様子を踏まえて、発表までの取組を調整しながら、見通しをもって学習に取り組み、既習事項を生かして、詳細な説明を加えるなどの工夫を行おうとしている。
b	誤りが一部あるが、発表に支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	提案する場所について、ALTの嗜好に沿ってPRすべきことを整理し、自分の考えや気持ちを話している。	提案する場所について、ALTの嗜好に沿ってPRすべきことを整理し、自分の考えや気持ちを話そうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※「思考・判断・表現」について、単元を通して指導したことを踏まえて以下の3つの条件を全て満たしていれば「b」としている。

- 条件1: 既習事項を生かして、自分が話したい内容を整理して話している。
 条件2: 自分の考えたこと、感じたこととその理由を述べている。
 条件3: 話題を広げたり深めたりしながら、決められた時間内で発表を行っている。